

第1回「杉並区教育ビジョン2022」意見交換会 報告書

開催日：令和4年6月17日
会場：天沼小学校

『みんなのしあわせを創る』とは？

「杉並区教育ビジョン2022」では、私たちが大切にしたい教育として「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を掲げています。本ビジョンへの理解を深める第一歩として、天沼小学校の6年生が、「みんなのしあわせを創る」とはどんなことなのか、クラスメイトと一緒に考えました。



冒頭「杉並区教育ビジョン2022」を紹介しました。



タブレットを使って、クラスメイトの「しあわせ」を共有しました。

①私の「しあわせ」って何？

最初に自分の「しあわせ」ってどんなことなのかを考えました。それぞれの「しあわせ」を発表すると、「家族といること」「友達と遊ぶこと」「美味しいごはんを食べること」「趣味に没頭すること」などいろいろな意見が出ました。人それぞれ、色々な「しあわせ」があることが分かりました。また、普段意識しない「しあわせ」を考えてみることで、「実は、普段の生活がしあわせなこと」と気付く児童もいました。

②「みんなのしあわせ」って何？

続いて「みんなのしあわせ」ってどんなことなのかを考えました。みんなと「楽しさ」や「喜び」を共有した時などを振り返りながら、みんながしあわせを感じるのはどんな時なのか、グループに分かれてそれぞれの考えを自由に出し合いました。グループワークの後に、各グループで出た意見を発表してもらおうと、「みんなで一緒に全力で何かに取り組むこと」「お互いを褒め合うこと（褒められると、「嬉しくなるしあわせ」と「成長できるしあわせ」の2つのしあわせが感じられる）」



各グループには教育委員会の職員も入り、一緒に「みんなのしあわせ」を考えました。

「みんなとの未来がこれからあるということ」など児童らしい柔軟な意見がたくさん出ました。

そして、意見の中から共通点を見つけて「仲間」や「身近なこと」が大切なのではないかと考えるグループや、平和や環境問題など「世界」に思いをめぐらせ、「みんな」という言葉を広くとらえるグループもありました。



各グループからたくさんの「みんなのしあわせ」が出てきました。



「みんなのしあわせを創る」ためにはどんなことをしたらいいのか。活発な意見交換ができました。

③みんなのしあわせを「創る」って何？

最後に、みんなのしあわせを「創る」って、一体どんなことをすればよいのか、引き続きグループで考えました。みんなのしあわせのために、自分たちでできることはどんなことか。そして、学校や家族や地域にしてほしいことはどんなことなのか、みんなで話し合いました。

自分たちでできることとして、「笑わせよう。笑うように意識しよう。」「積極的になろう。意見を言うようにしよう。」「ルールを守るとか、当たり前のことを当

たり前にやろう。」などの意見がありました。また、学校や家族や地域にしてほしいこととして、「(お楽しみ会など) みんなで楽しく過ごせる時間を増やしてほしい」「家族に自分たちが勉強している様子を見てほしい」「LGBTQの差別をなくしてほしい」などさまざまな意見が出ました。他にも「ゴミのポイ捨てをなくして綺麗なまちにしてほしい」や「ガードレールの設置など道路を整備して安全なまちにほしい」など、自分たちが住むまちのことを考える児童が多くいました。

④教育長から

みなさんの意見を聞いて、しあわせには2種類あるのではないかと考えました。ひとつは「受け取るしあわせ」、もうひとつは「差し出すしあわせ」です。「受け取るしあわせ」は人に嬉しいことをしてもらって感じるしあわせです。「差し出すしあわせ」は人に喜んでもらうことで感じるしあわせです。みなさんは家族にごはんを作ったことはありますか。自分が作ったごはんを「美味しい」って食べてくれませんでしたか。その時、自分も嬉しくなりましたよね。誰かをしあわせにしようとする、自分もしあわせになれる。皆さんの意見を聞いてそう感じました。

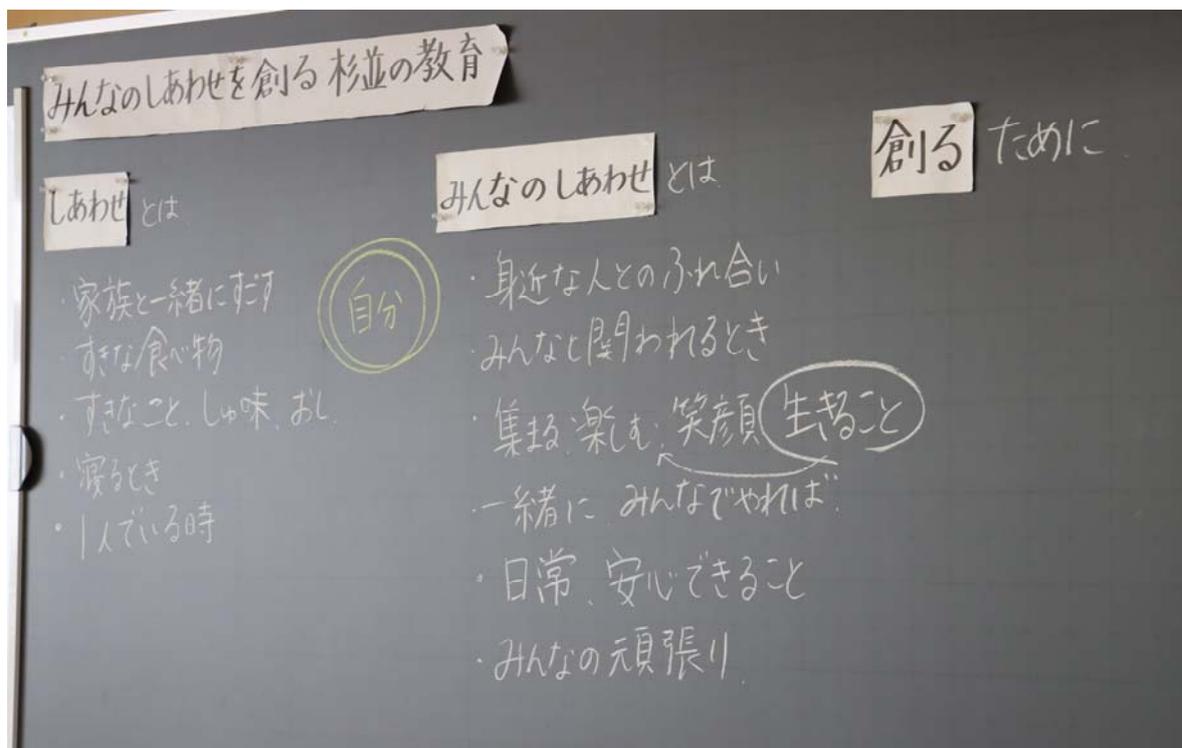


授業の最後に、教育長が児童の意見を聞いて感じたことを伝えました。

意見交換会を振り返って

「杉並区教育ビジョン2022」で大切にしたい教育として掲げる「みんなのしあわせを創る杉並の教育」について、さまざまな意見を聞くことができました。みんなのしあわせを創るにはどうしたらいいかを考える際に、学校や、家族や、地域に何をしてほしいかという意見以上に、自分たちがどうするのかという意見が多く出ました。児童たちの活発な意見交換を聞いていると、社会を創る当事者としての思いが既にしっかりと育っているのだと感じました。

意見交換会後のアンケートでは、『「みんなのしあわせ」のためにあなたはどんなことを心がけることが大切だと思いますか。』という問いに「自分がしてもらって嬉しいことをしてあげる」「人の好きなことを尊重する」「みんながどんなことを考えているかを考える」など、児童それぞれが自分の言葉で他の人を尊重する思いを書いてくれました。自分だけではなく、みんなと一緒にしあわせになりたいという気持ちが伝わってきました。



第1回「杉並区教育ビジョン2022」意見交換会 報告書

- ・開催日 令和4年6月17日
- ・参加者 天沼小学校6年生

令和4年7月 編集・発行 杉並区教育委員会 庶務課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号 電話 03-3312-2111